

序 - 3 住民意向調査

本市では、計画策定前の段階で、アンケートによる住民意向調査を行ない、成人を対象としたアンケート及び緑の基本計画の目標とする年次に桐生市を担う世代となる中学1年生に実施した。

(1) アンケート概要

成人を対象としたアンケート

20歳以上の市民1,641名を対象とした。ただし、宛先不明で6通返送されてきたため、実際の配布は1,635名となった。

- **対象者の抽出方法**

住民基本台帳より以下の条件で抽出した。

- ・男女比を1：1とする。
- ・年齢層（20歳代～50歳代、60歳以上）毎に均等になるようにする。
- ・区別の人口比を反映するように割り振る。

- **配布・回収方法**

配布・回収は、郵送により行った。（平成11年10月18日発送、11月20日返送締切）
ただし、締切後に到着した分についても集計に加えた。

- **回収状況**

回収は782通で、回収率は47.8%である。

また、中学生へのアンケートを含めると、配布1,988通に対し回収1,135通となり、回収率は57.1%である。

中学生へのアンケート

桐生市の将来を担う中学1年生を対象として、成人用アンケートの設問をもとに、選択肢の一部を簡略化するなどの修正を行い、平成11年9月～10月に実施した。各中学校の1年生1クラスに回答への協力を求め、353通の回答を得た。教育委員会を通じて各学校で実施したため、100%の回収となった。

表 中学校別回収数

学校名	回収数
東中学校	27
西中学校	40
南中学校	22
北中学校	31
昭和中学校	21
境野中学校	29
広沢中学校	37
梅田中学校	21
相生中学校	31
川内中学校	33
桜木中学校	32
菱中学校	29
計	353

(2) 集計結果

成人回答者の属性

● 性別

回答者の性別は、男性329名（42.1%）、女性446名（57.0%）、無回答7名（0.9%）である。

● 年齢

回答者の年齢層は、それぞれ全体の20%前後であるが、20歳代の割合がやや低い。

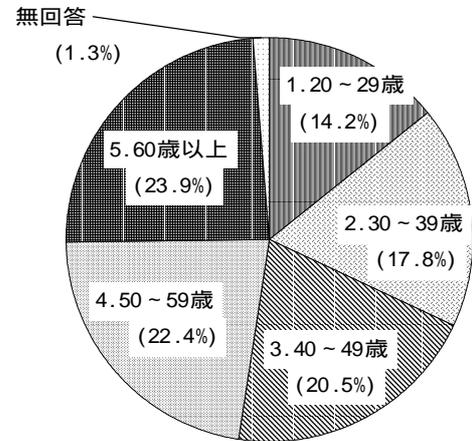


図 回答者の年齢別構成比

表 年齢・男女別回答者数

	男	女	無回答	計	構成比 (%)
1. 20～29歳	46	65	0	111	14.2
2. 30～39歳	46	93	0	139	17.8
3. 40～49歳	69	91	0	160	20.5
4. 50～59歳	73	102	0	175	22.4
5. 60歳以上	92	95	0	187	23.9
無回答	3	0	7	10	1.3
計	329	446	7	782	100.0

(端数処理のため、構成比(%)の計が100%にならない場合がある。以下の設問では、設問毎に無回答の人を除いて集計。)

緑の量について

緑の量についての印象を、住まい周辺と桐生市全体について聞いた。さらに、どんな場所で緑が増えたか、減ったかを質問した。

● 問 住まいの周りで目に入る緑の量

市全体では、「多い」「普通が」とともに3分の1程度である。

区別にみると、14区(梅田町)、17区(菱町)、10区(東久方町、西久方町、天神町、平井町)、16区(川内町)などで多いと答えた人が多い。一方、3区など市街地中心部の区では、多いと答えた人が少ない。

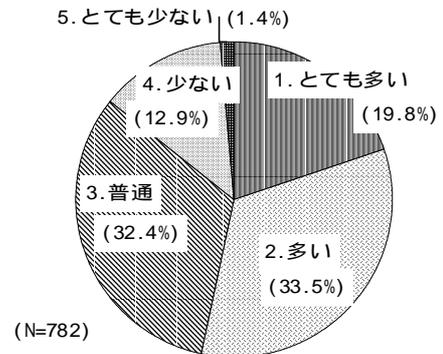


図 住まいの周りで目に入る緑の量

緑の現況調査で計測した緑被率と、「とても多い」または「多い」と回答した人の割合を区別に比較した。

緑被率が高くなるほど緑が多いと感じている人の割合が高くなる傾向があるが、緑被率の低い区でも3割以上の人が多いと感じている。これは、「住まいの周り」を広くとらえ、市街地周辺の山並みを含めた範囲について回答しているためと考えられる。

3区(稲荷町、錦町、織姫町、桜木町、美原町、清瀬町)で、緑被率と比べて緑が多いと感じている人の割合が低いのは、渡良瀬川の水面と水辺によって区の緑被率は30%程度となっているものの、市街地には緑が少ないためと考えられる。

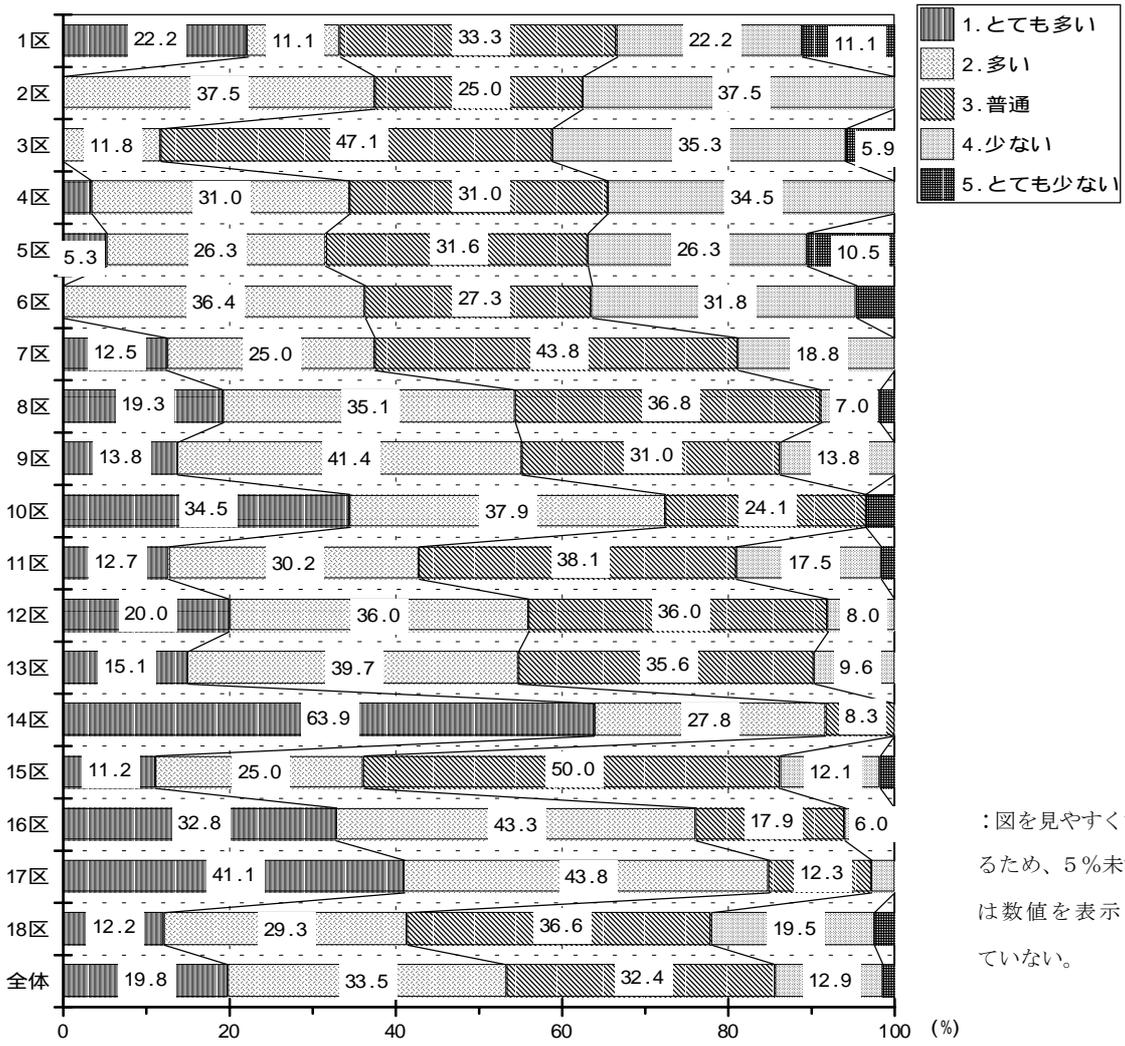


図 住まいの周りで目に入る緑の量（区別）

：図を見やすくするため、5%未満は数値を表示していない。

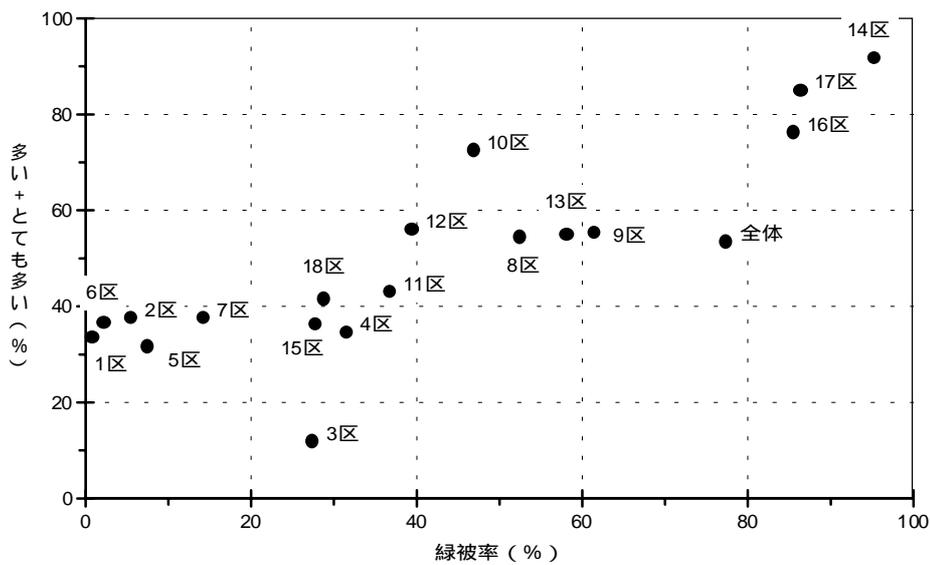


図 緑被率と住まいの周りで目に入る緑の量（「とても多い」+「多い」）との関係

- 問 桐生市全体の緑の量
住まいの周り（問1）と比べて、「とても多い」と答えた人の割合が低く、「多い」と「普通」という回答の割合が高くなっている。

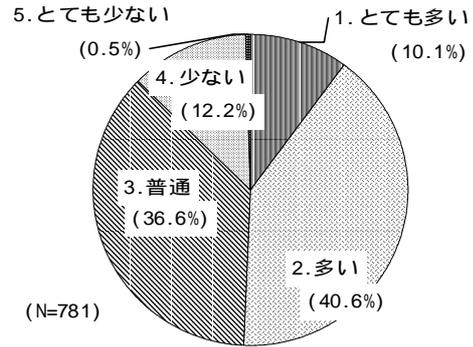


図 桐生市全体の緑の量

- 問 5～6年前と比べた緑の量の変化

「農地」「山林や樹林地」「水辺の緑」が減ったという意見が多い。一方、「道路の緑」及び「公園や広場の緑」は増えたという意見が他の場所より多い。「住宅地」については、減ったという意見と増えたという意見の両方がある。

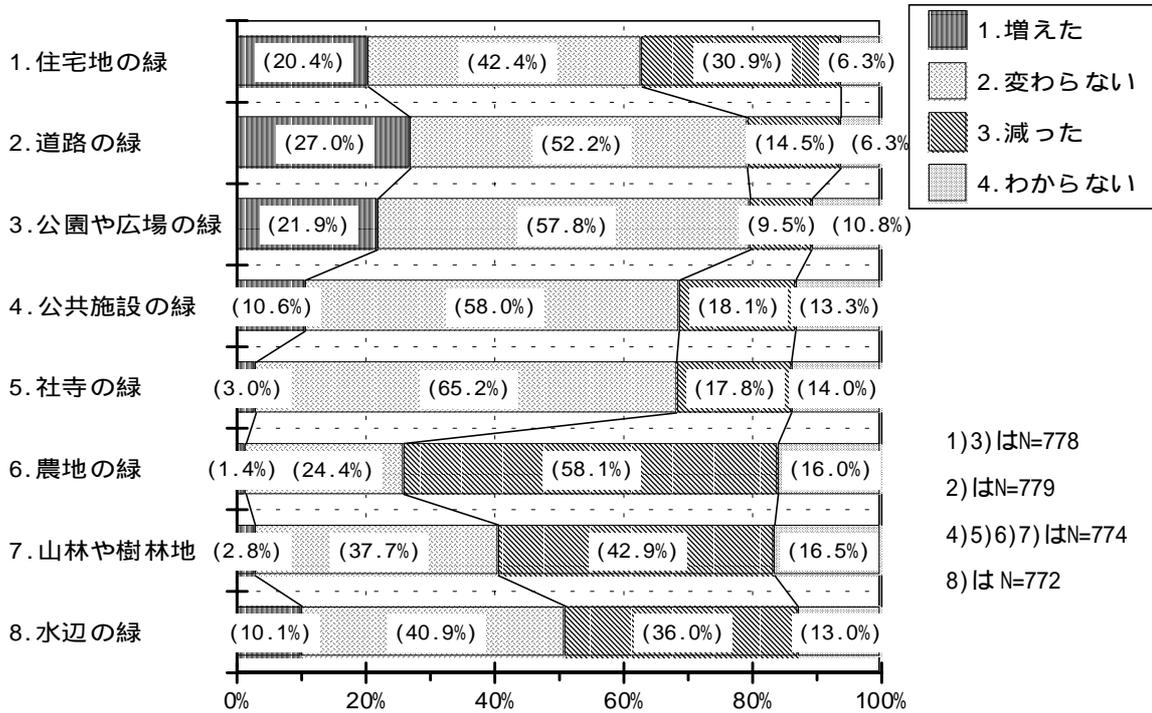


図 5～6年前と比べた緑の量の変化

公園について

● 問 今後どのような公園が増えるとよいか

今後市内にどのような公園がふえるとよいか、選択肢の中から3つまで選んでもらった。最も多い意見は「自由に遊べる広々とした原っぱのある公園」であり、次いで「池や林などがあり、自然観察や木登り、虫取りなどのできる公園」という意見が多かった。

その他の意見としては、次のようなものがあった。

- ・ 散歩を楽しめる公園。遊歩道、並木道、森林公園のようなもの
- ・ お年寄りがのんびりすごせる公園
- ・ 自然を可能な限りそのまま残したような公園
- ・ 大駐車場を備えた公園
- ・ 子供の年齢によって公園を利用する用途が違う為、色々な種類の公園が必要だと思う。
- ・ これから高齢者も増えるので、車やバスで行かなければいけないような公園ではなく、コロンバス通りのように散歩がてらちょっと緑の下で休めるような所が身近にたくさんあるといいと思う。
- ・ 桐生球場の早急なりニューアル
- ・ 渡良瀬河川敷の有効利用をして欲しい
- ・ 増やさない方がよい。自然のままが一番。人工的なものはやめてもらいたい。

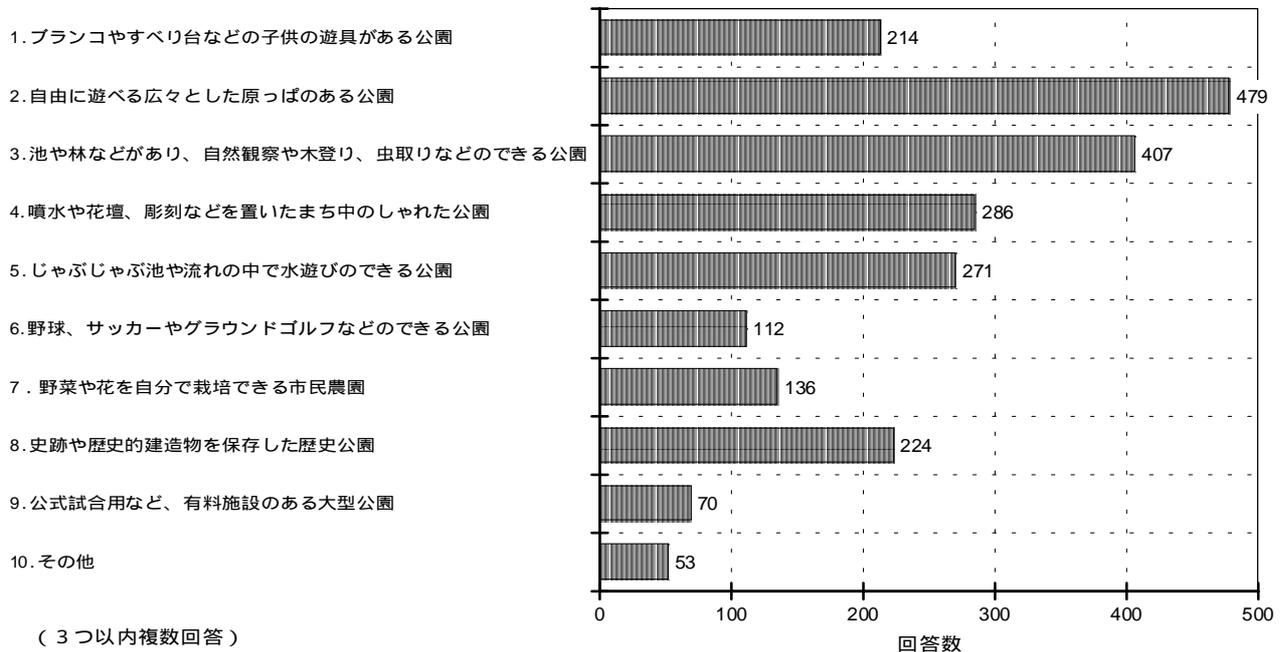


図 今後どのような公園が増えるとよいか

緑を守り、育てるための制度について

緑を守り、育てていくために今後市が力を入れていくべきことは何かを聞いた。

● 問 市が特に力を入れるべきこと（1～3位の順位をつけて回答してもらった。）

1～3位の合計では「森林を守る」が最も多く、次いで「小さくてもよいから、身近なところに公園を増やす」が多い。また「水辺の緑を守る」「街中に緑を増やす」「街路樹を増やす」という答えも多い。

しかし、順位別にみると1位に選んだものでは「小さくてもよいから、身近なところに公園を増やす」が最も多くなっている。

その他の意見としては、「現在ある公園の定期的な管理・点検」などがあつた。

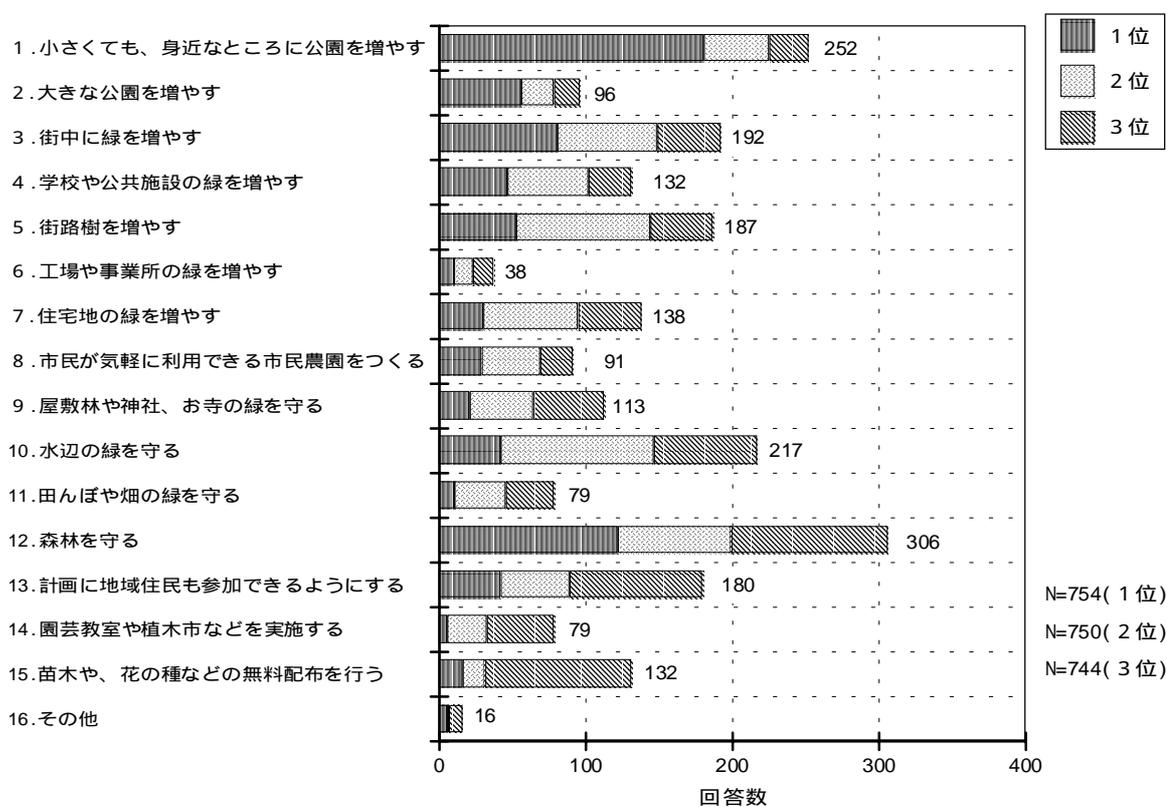


図 市が特に力を入れるべきこと

参加・協力できそうだと思う活動について

参加・協力できそうだと思うと回答した人（485人）に活動内容を聞いた。（複数回答）

● 問 緑化に関する地域活動への参加

「個人でできる範囲で参加・協力する」と答えた人が多かったことからわかるように、「自宅の道路に面した部分の緑化や生け垣づくり」が最も多く、次いで「公園、道路などの清掃、除草、水やりなどの手入れ」「公園、道路などの花壇づくり」の順となっている。

年齢層及び男女別にみると、大きな差は見られないが、「緑の募金活動などへの協力」については、若年層ほど高く、男性よりも女性の方が高い傾向がみられる。

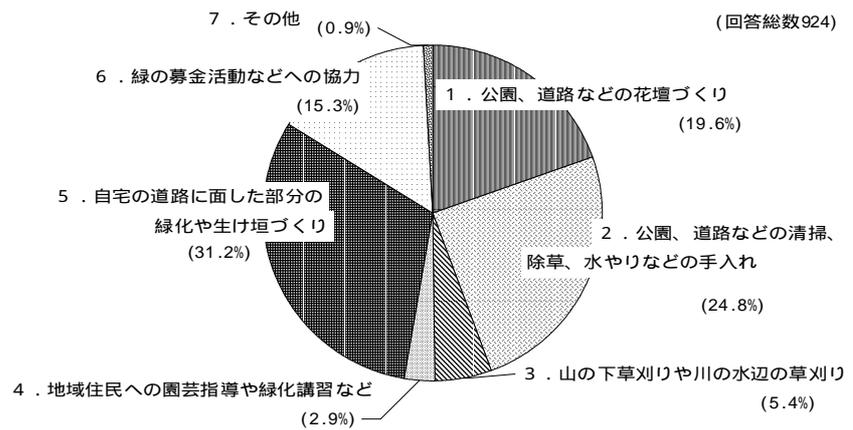
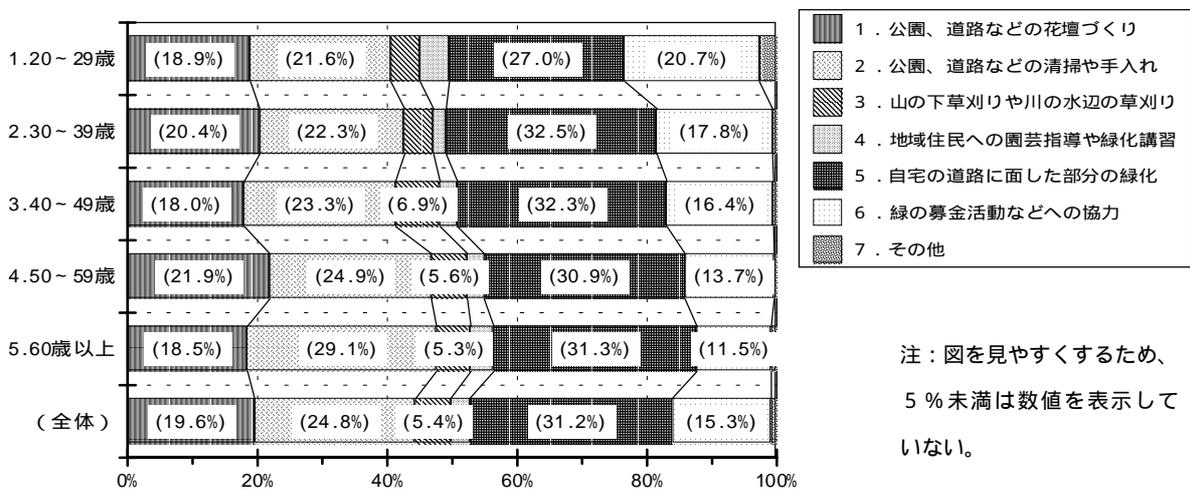
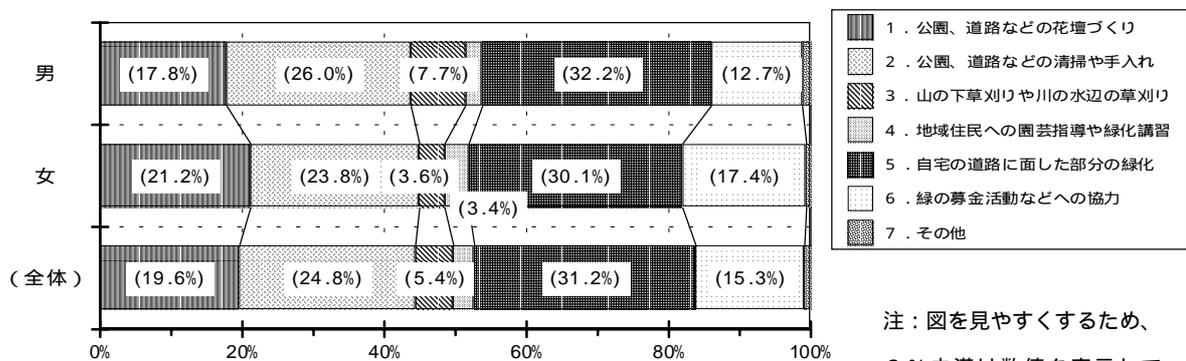


図 参加・協力できそうだと思う活動



注：図を見やすくするため、5%未満は数値を表示していません。

図 参加・協力できそうだと思う活動 (年齢層別)



注：図を見やすくするため、3%未満は数値を表示していません。

図 参加・協力できそうだと思う活動 (男女別)

(3) 中学生アンケート

● 問 緑の役割について

緑の役割について、選択肢の中から重要と思う順に3つを選んでもらった。

1位にあげたものとしては、「空気をきれいにする」が圧倒的に多く、次が「動物、植物の生息の場を提供する」となっている。2位にあげたものでは、「水をたくわえ、山崩れなどの災害を防止する」が最も多く、3位では「心に安らぎを与える」が最も多い。

1～3位の合計では、「空気をきれいにする」「心に安らぎを与える」「動物、植物の生息の場を提供する」「水をたくわえ、山崩れなどの災害を防止する」の順となっている。

1～3位の合計について、成人を対象としたアンケートと比較すると、「空気をきれいにする」「心に安らぎを与える」の順に多い点は同じであるが、成人では「動物、植物の生息の場を提供する」よりも「水をたくわえ、山崩れなどの災害を防止する」の方が多い点が異なっている。

「その他」の意見としては、他の選択肢と関連したもののほか、「木は紙などの原料になる」「ずっと見ていると視力が良くなる」というものがあった。

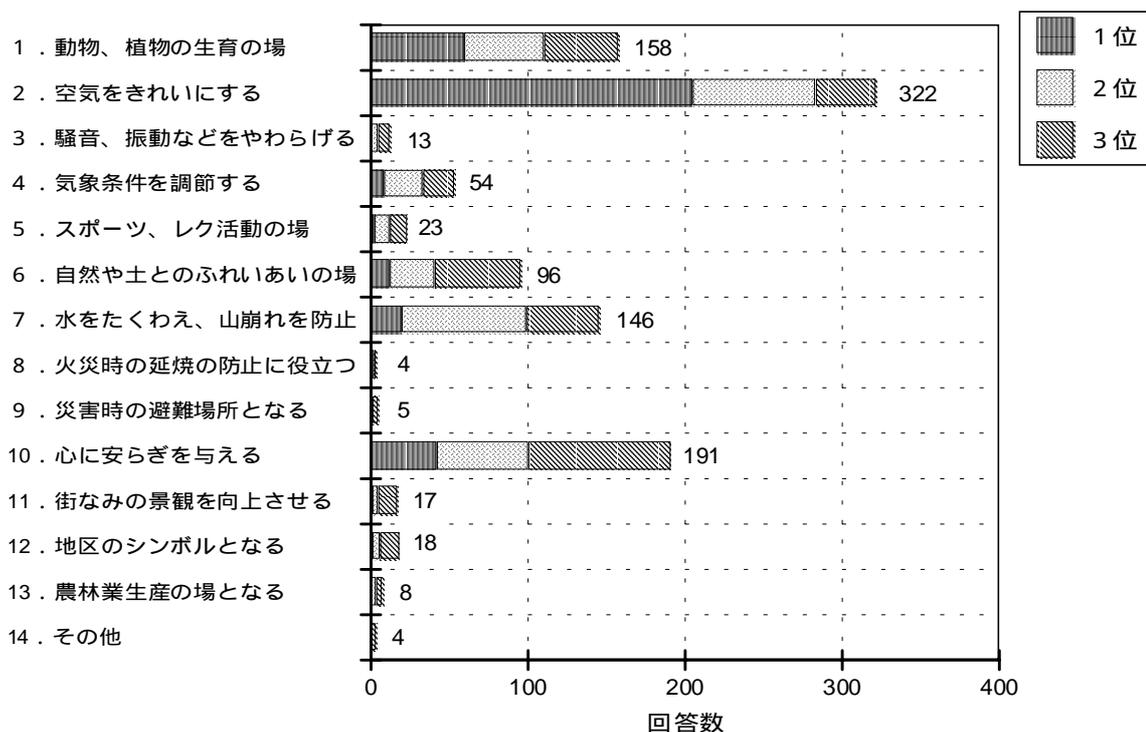


図 緑の役割（中学生）

● 問 今後どのような公園が増えるとよいか

どのような公園が増えたらよいかたずねた（3つ選択）。

最も多い回答は「自由に遊べる広々とした原っぱのある公園」で、次いで「スポーツができる公園」「池や林などがあり、自然観察や木登り、虫取りなどのできる公園」「水遊びのできる公園」というものが比較的多かった。

成人を対象としたアンケートと比較すると、中学生の方が「スポーツができる公園」を希望する割合が高いことが大きく異なっている。

その他の内容としては、下記のようなものがある。

（参考）その他の内容

- ・アスレチックのある大型公園・花壇などに入れる公園
- ・犬とかも自由に出来る場所
- ・いろいろなイベントがあって、いろいろな人と話したり遊んだり出来る公園
- ・お金もちの広い庭のようなメルヘンチックな公園
- ・大人から子供までが楽しく遊べる公園
- ・砂漠みたいな所
- ・スケボー・ローラーブレードが出来る場所
- ・食べ物を売っている公園（ポテト、アイスクリーム）
- ・小さい子も安全に遊べる公園
- ・中心部に木が1本立っている公園
- ・のんびり出来る公園
- ・博物館とかの近くに公園を
- ・プールやアスレチックのある大型公園
- ・フリーマーケット等イベントの多い公園
- ・水遊びが出来るアスレチックのある公園
- ・夜になっても結構明るい公園

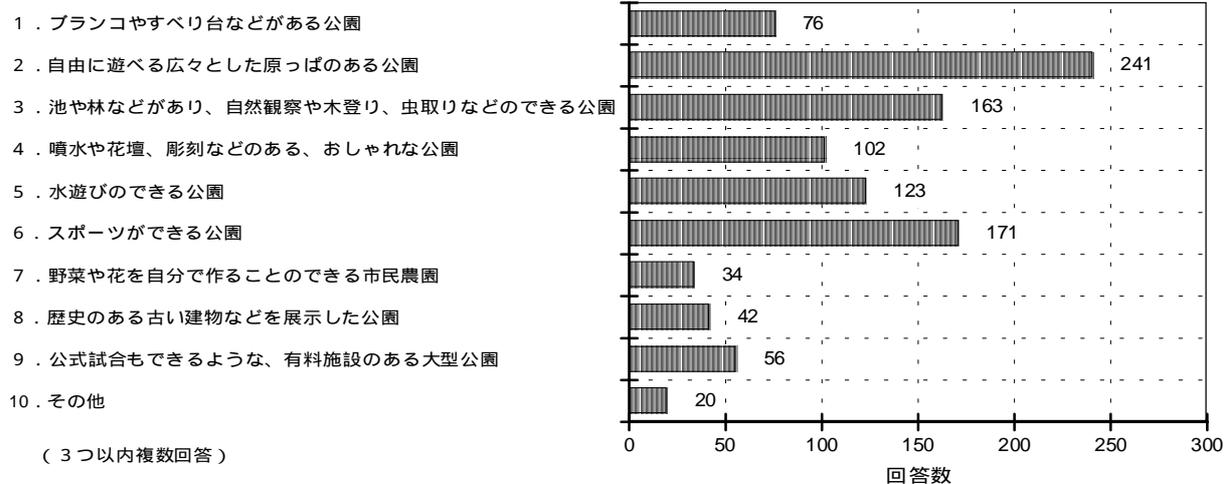


図 今後どのような公園が増えるとよいか（中学生）

● 問 市が力を入れるべきこと

緑の基本計画を策定するにあたって、市が力を入れるべきことは何かをたずねた（重要と思う順に3つ選択）。

1位には、「まちの中に花や木を増やす」「森林を守る」が多く、2位には「川をきれいにし、川ぞいの緑を守る」が圧倒的に多かった。

1～3位の合計では、「川をきれいにし、川ぞいの緑を守る」「まちの中に花や木を増やす」「森林を守る」の3つの回答が多かった。

選択肢が若干異なるが、成人を対象としたアンケートと比較すると、中学生の意見に「川をきれいにする」という意見が非常に多く、「小さな公園をたくさん増やす」という意見が少ないことが大きく異なっている。

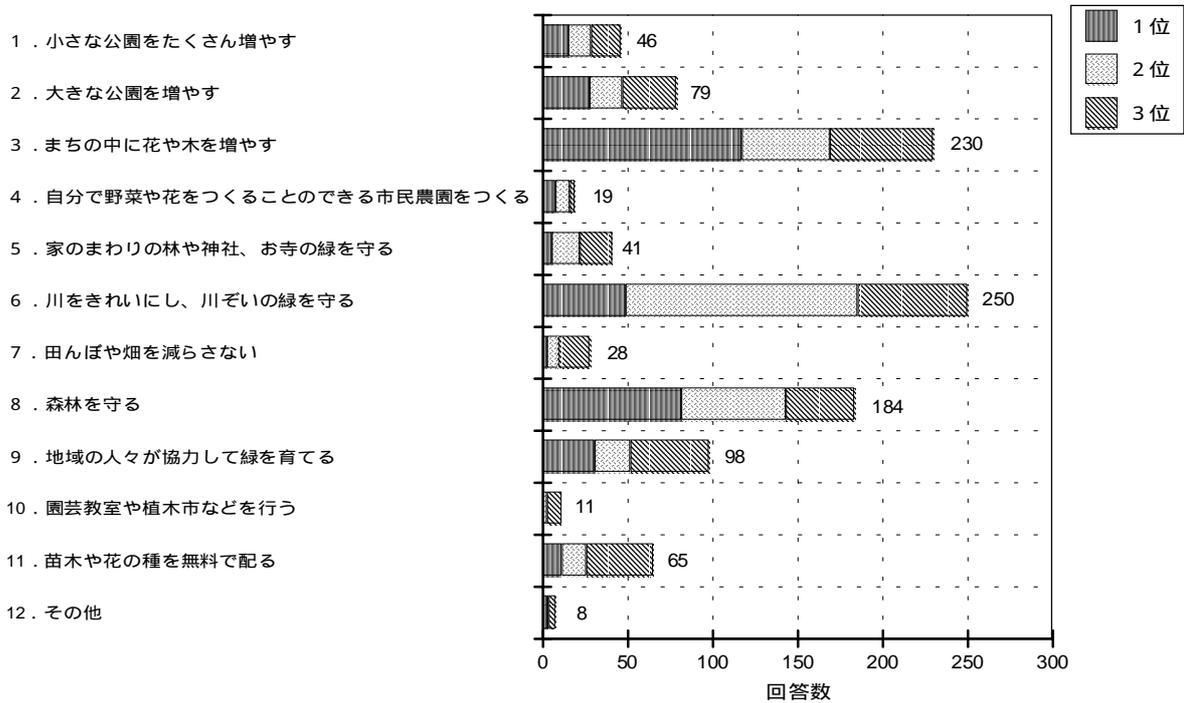


図 市が力を入れるべきこと（中学生）

● 問 大人になったときにどんな桐生のまちであって欲しいか

大人になったときにどんな桐生のまちであって欲しいか、特に自然や緑、公園等への希望を自由に記述してもらった。

意見を分類し、その数を集計すると、緑化推進関連や公園についての意見などが多い。

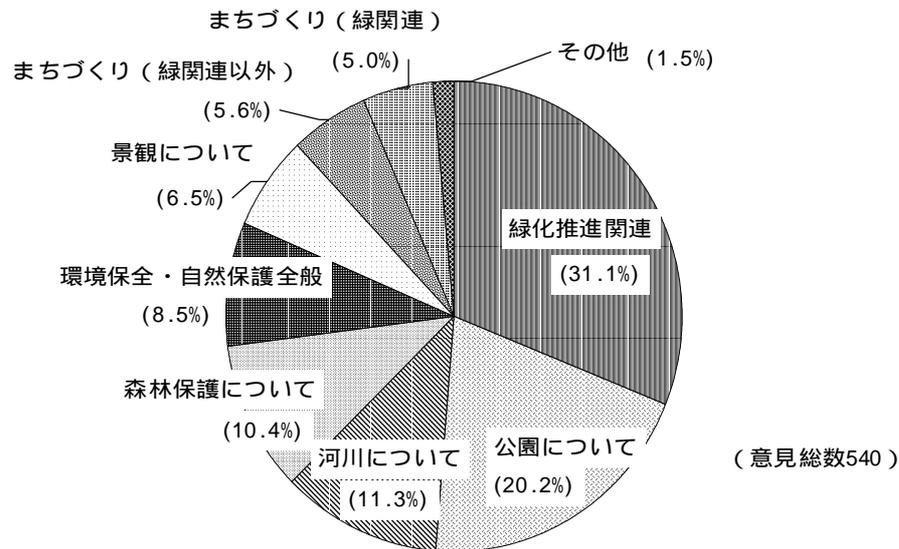


図 大人になったときにどんな桐生のまちであって欲しいか（中学生）

● 中学生の自由記入した代表的な意見

○緑化推進関連

- ・街路樹をいっぱい植える。
- ・街に木を植えて美しい町にしたい。
- ・木や緑を増やして緑いっぱい、自然に満ちあふれている町にして欲しい。

○公園について

- ・中央公園のような広くて、スポーツができる芝生の公園がもっとほしい。
- ・出来るだけ自然はこわさずに人々がふれあえる楽しくてきれいな公園を作って欲しい（無料の）。
- ・公園では小さな子供がみんなで遊んでいる姿を見たい。

○河川について

- ・川をもっときれいにして欲しい。
- ・川の自然を残したい。
- ・川をもっとキレイにして、魚がたくさんいる川にしたい。

○森林保護について

- ・森林をこれ以上減らさないで。
- ・山の自然を残したい。
- ・吾妻山の自然を守りたい。

○環境保全・自然保護全般

- ・緑がいっぱいあって空気がとてもきれいで青空があつて雲1つないところ。
- ・自然を出来るだけ減らさないで風景もあまり変わらないで欲しい。
- ・自然が多く、野生動物と人間が上手に共存できる町が欲しい。

○景観について

- ・今のままの緑の美しい町でいて欲しい。
- ・桐生の山の風景は変わらないで欲しい。
- ・山の風景、山の近くの風景は変わらないで欲しい。

○まちづくり（緑関連以外）

- ・老人が歩きやすい交通整備（歩道から歩道へ移るときの段差など）。
- ・これ以上建物は建てないで欲しい。
- ・近代化が進むのも良いが昔ながらの町並みも残して欲しい。
- ・アスファルトのない、電柱が木で、道路は土の町がいい。
- ・このままの桐生であつて欲しい。

○まちづくり（緑関連）

- ・もっと木を植えたり芝生を生やしたりして自由に遊べる所が欲しい。
- ・子供も大人も楽しめるような場所が欲しい。
- ・心に安らぎを与えるような場所が欲しい。